

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月12日(2022.10.12)

【公開番号】特開2020-179195(P2020-179195A)

【公開日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-045

【出願番号】特願2020-117025(P2020-117025)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0088

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【0088】

実施例において、(a)シーリング構造は、シーリング構造の内周に向けて突き出るシーリングラップをさらに含み、(b)該シールラップは、患者の鼻骨の上の鼻の側面に対してシールを形成するように構成され、(c)該シーリングラップは、鼻翼に対するシーリングを避けるように構成され、(d)シーリング表面の部分は、該ループの残余の部分に関して増大した柔軟性を有し、シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より薄い壁断面を含み、(e)シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より厚い壁断面を含み、(f)該ループは、鼻翼を含み鼻の側壁と接触するように位置しており、(g)該ループは、患者の鼻骨の上の鼻の側面と接触を維持するように構成され、(h)該ループは少なくとも1つの閉端を含み、(i)該ループは、シーリング構造を内側に折り畳んで、シーリング構造の内表面上に接続点を形成し、(j)該接続点は、シーリング表面に関連してループに充分な張力を提供して、ループの内表面に治療圧力が加えられた時、シーリング表面の外側へのブローアウトに対抗し、(k)該ループは接続点において所定の角度を形成し、治療圧力が加えられた時、該所定の角度は、ループにおける張力を決定し、(l)該接続点は調整可能で、(m)該接続点は解放可能な接続で、(n)該シーリング構造はさらに第2の接続点を含み、(o)該シーリング表面は、低減された摩擦の領域を含み、患者の顔面との付着を低減し、(p)低減された摩擦の領域はフロスト加工された表面で、(q)低減された摩擦の領域は、患者の鼻の側面が、シーリング表面に抗して自由に滑るように適合され、及び/または(r)該ループはヘリの無いシーリング表面を提供する。

30

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0090

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0090】

40

実施例において、(a)シーリングラップは、シーリング構造の内周に向けて突出し、(b)該シーリングラップは、鼻骨の上の鼻の側面及び上顎上の鼻の側面の隣接部、患者のエンドカンチオンに隣接したくぼみに抗してシールを形成するように構成され、(c)該シーリングラップは、鼻翼に対するシーリングを避けるように構成され、(d)

50

シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分に関して増大した柔軟性を有し、( e )  
シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より薄い壁断面を有し、( f )  
シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より厚い壁断面を有し、( g )  
該シーリング表面は、低減された摩擦の領域を含み、患者の顔面との付着を低減し、( h )  
低減された摩擦の領域はフロスト加工された表面で、( i )  
低減された摩擦の領域は、患者の鼻の側面が、  
シーリング表面に抗して自由に滑るように適合され、( j )  
該第1のループは、患者の  
顔面と接触するように適合されたシーリング構造の部分を画定し、( k )  
該第1の部分と  
第2の部分は、患者の顔面と接触するように適合されたシーリング構造の部分の一部で、  
( l )  
該第1の部分は連続で、( m )  
第2のループは、患者の鼻と接触するようにまたは  
それに沿って位置しており、( n )  
第2のループは、実質的に管形状の構造が、患者の鼻  
と接触するようにまたはそれに沿って位置しており、( o )  
実質的に管形状の構造は、患者の鼻  
の側面に実質的に平行に位置するように適合されており、( p )  
該シーリング構造  
は、さらに第2のループの第2を含み、( q )  
該実質的に管形状の構造は、周囲圧力以上の  
圧力と流体連結にあるように適合された中空内部を含み、( r )  
該実質的に管形状の構造は、2つの解放端を含み、及び／または( s )  
第2のループは、患者インターフェースが  
内部的に加圧され、これを患者が調整する場合、第2のループのブローアウトを防止する  
ように適合されている。

10

20

30

40

50

**【誤訳訂正3】****【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0 1 4 8****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0 1 4 8】**

シーリング表面3105のいくつかまたはすべては、(比較的)摩擦が低減した領域である。これは所謂フロスト加工された表面を提供することによって達成できる。摩擦が低減した領域があれば、ない場合より、シーリング表面の患者の顔面への付着が少なくなる。摩擦が低減した領域は、固定具3110の一部として提供でき、患者の鼻の側面(複数)が、シーリング表面3105及び／または固定具3110に沿って自由に滑ることができる。